

高校生や社会人次々に倒し3位!!



全国大会でも上位を目指す佐藤



佐藤

全国切符

第3回ケンコーカップ埼玉県ソフトテニス選手権
ソフトテニスシングルス選手権
 第3回ケンコーカップ埼玉県ソフトテニス選手権が1月31日、行田市総合公園で行われた。中学生から社会人までが出場する中で、女子では中学1年生の佐藤愛(東松山山中)が3位に食い込む快挙を達成した。高校生や社会人を次々に撃破し、3位決定戦でも田村優乃(23、アキム)に3-1で破り勝ち関東大会(3月、茨城)、全国大会(5月、京都)への出場を決めた。

中学1年生ながら3位に食い込んだ佐藤

さいたま報知は読売新聞の販売店からお届けしています

持ち味を存分に発揮
 初戦から高校生、社会人選手を撃破し、上位大会(関東、全国)出場権となる4強入りを果たした佐藤。準決勝では優勝した社会人(女子)の田村優乃(アキム)と対戦し、3-2で勝利した。

選手に屈したが、3位決定戦で若さの勢いを爆発させた。またも社会人選手を相手に2セット先取したが、勝ち急いで無理に決めようとしてしまっただけで、4ゲームを奪われ2-2のタイに。ここから佐藤の持ち味が顔を出した。「弱気になって受けて負けるのは嫌。攻めて負けるならいい」と、本来の積極的に戻めるプレーで相手を押しまくった。7点先取のファイナルゲーム

昨年の県中学新人戦で個人・団体の2冠獲得。個人、団体の2冠を獲得。ただ、ダブルスの練習はしてなかったため「シングルの大会でここまで勝つとは」と、自らも驚く快進撃だった。「年々どうも同級生もいなくなつたので」と出場者の中で最年少。「中学生と比べて速くて重い」という球質に苦戦しなかったが「全員が年上。向かっていくなかで、自分のプレーができた」と、持ち前のポジティブさを切り開いた。

奮闘もあと一歩で涙
 大原 6位に入った大原
 ○女子5、6位決定戦に挑んだ大原彩葉(杉戸広島中2年)があと一歩で涙をのんだ。勝てば全国出場権を得たが、高校生を相手に第1ゲームを先取しながら1-3と逆転負けを喫した。「勝ち負けにこだわらずに頑張つたらいい試合ができた」と納得。関東大会で埼玉代表が上位に入れば全国出場権が増えるという一呼吸してほしく」と祈っていた。



6位に入った大原

美肌
7種類の和漢植物エキス

美白
トラネキサム酸

保湿

「朝晩1回、たった1分」

広告

シミが1分で!

肌の奥に潜むシミにも効く! シミが1分で!

洗剤後、これだけでOK!

肌の奥に潜むシミにも効く! シミが1分で!

この特典は3月22日(月)まで! お急ぎください!

0120-06-4371

お申込時に「S報知を見た」と必ずお伝えください。